

議 長 休憩を解いて再開いたします。 (14時50分)

受付番号第6号、武尾哲治君の一般質問を許します。登壇願います。

2 番 武 尾 議長のお許しを得て、一般質問をさせていただきます。受付番号第6号、質問議員、第2番 武尾哲治。件名、松田町の待機児童の現状と対策について。

要旨。町は子ども・子育て支援事業の計画にのっとり、子育て支援の充実に取り組まれています。次の点について伺います。

1、待機児童の現状を確認させてください。国に報告している年度初めの数字と年度途中の数字もお願いいたします。

2、途中入園の申込みもお願いいたします。

3、保育士の数は充足していますか。また、処遇改善については、どのように取り組まれていますか。以上です。

町 長 それでは、武尾議員の御質問に順次お答えをさせていただきます。

まず1点目の御質問の待機児童についてでございますが、国が定めるルールに基づき、待機児童として対象になった人数を申し上げますと、令和6年4月1日時点での待機児童数は、1歳児クラスのみで3名となっております。令和6年11月末日時点での待機児童数は、0歳児で2名、1歳児で2名となっております。なお、年度初めで大方の定員が埋まるために、ほかの子の退所を待たなければ入所できないという場合もございます。年度途中の入所、特に年度後半にかけては例年入所、途中入所が難しい状況でもございます。

続きまして、2点目の御質問にお答えをいたします。途中入所の申込みについてでございますが、随時申込みを受け付けており、手続といたしましては保育の要件を満たしているかを確認した上で、入所希望の前々月の末日までに申込みを完了した方を対象に、入所の調整協議を行っております。また、第1希望の保育所が受入れ不可で保留となっている方が、第2希望の保育所に入所が決まったとしても、第1希望の入所希望を継続されている場合には、次月以降も入所の調整協議は継続している状況でございます。

続きまして、3点目の御質問にお答えいたします。町内の対象となる保育施設は、さくら保育園となのはな保育園、2園となります。保育士については、

なのはな保育園は充足しておりますが、さくら保育園は児童の定員数が大きい  
ため、必要とする保育士の人数も多く、年によっては確保が難しいクラスがあ  
ると伺っております。

処遇改善につきましては、事業所が職員の技能や経験年数、職責等に応じて  
処遇改善を実施した場合の加算であります。国が決定した公定価格による処  
遇改善に基づき給付をしております。

現在実施している町の独自の支援といたしましては、配置基準を超えて雇用  
する保育士の雇用経費、個別に支援が必要な児童の保育に伴う保育士の雇用経  
費として活用できるよう、保育対策支援事業補助金を計上し、支援を行って  
おります。

今後も引き続き適切な処遇改善が図られ、待機児童を発生させないよう、町  
内の2園と連携して取り組んでまいります。以上でございます。

2 番 武 尾 御丁寧な回答、ありがとうございました。それでは再質問をさせていただきます。  
まず1点目と2点目は関連がありますので、併せてさせていただきます。  
年度当初と比較すると、1歳児は途中で無事入園され、代わりに途中入園を希  
望する0歳児がお2人増えたようですが、松田町の傾向としては年齢が低いお  
子様ほど受入れ先がないように思われますが、その認識でよろしいでしょうか。

子育て健康課長 それでは、議員の御質問にお答えさせていただきます。議員おっしゃるとお  
りとなりますけれども、特に年齢の低いお子さんの受け入れできる定員が少な  
いことや、保護者ですね、仕事への復帰による入園希望者が多いこと、また、  
保育士の人数に対して子供、児童がですね、定員に達しているため、受入れが  
できない状況となっております。以上です。

2 番 武 尾 ありがとうございます。次に、手続的なこととお伺いします。途中入園を  
希望する場合、役場の窓口で申請をして、入所の調整協議が調わなかった場合  
に待機となると理解しますが、入園希望の保護者の方の預けようとする目的は  
就労が多いのでしょうか。あるいは、ほかに何か理由があれば教えてください。

子育て健康課長 ただいまの御質問にお答えいたします。保育所の利用ができる方については、  
就労のほか、妊娠、出産、産前・産後の期間ですね、それとかあと保護者が病

気の状態にあるなどが保育所の利用ができる方なんですけれども、議員のおっしゃるとおり、入園の希望者というのは保護者の就労がですね、ほとんどということでございます。以上です。

2 番 武 尾 その場合、待機となった保護者の方は、就労ができなくなってしまう、非常に厳しい。場合によっては生活が成り立たなくなるほど、せっぱ詰まった状況になる場合もあると考えられますが、窓口でのやりとりの際、かなり詳細に聞き取りのようなのはされているのでしょうか、お伺いします。

子育て健康課長 保育所に入園を希望される方につきましては、利用者から保育所入所申請書申込書をですね、記載していただくんですけれども、申込み手続が結構複雑であるため、手続の際ですね、個別の状況などを詳しく聞き取った上で、保育所の入所に関することですか、手続に必要な書類ですか記載方法など、これらをですね、丁寧に説明をさせていただいて、保護者の方に正確に申込みしていただくよう対応しております。以上です。

2 番 武 尾 ありがとうございます。今のお話を聞きますと、現在は入所希望の2か月前に申込みの手続を完了し、その時点から入所の協議が始まりという、そういう手順なんですけれども、例えばなんです、松田町で出産をされる方は、母子手帳が発行されます。その段階で、出産後半年なり1年後なりで入所の希望等のヒアリングを行えば、子育て支援の長期的な計画が立てられて、待機児童減少になるかと思うんですが、いかがでしょうか。

子育て健康課長 妊婦さんや出産された方に入所希望等のヒアリングについてですが、妊娠届をされて母子健康手帳をお渡しする際には、保健師が面談をさせていただいて、働いていらっしゃる方には今後の仕事の見通しなどをお聞きしながら、確認ができるように、でしたら確認をするようにしております。また、お子様ですね、保育園に預けることを予定されているかというところも、お聞きしております。現段階で入所される予定などの意向を聞いているんですが、出産された場合ですね、赤ちゃん訪問もしているんですが、その際にもですね、同様に今後の仕事の見込みなどをお聞きしながら、確認ができるようでしたらお子様の保育園に預けることを予定されているかなど、現時点で入所の予定などをお聞

きしております。

この面談とかですね、赤ちゃんの訪問でお聞きしたことがですね、イコール今後の保育所の利用人数の予測につながるということではなく、転入・転出の移動とかですね、出産された方の育児休暇のとり方によっても、保育所の利用は変わっていくと考えられますので、なかなか見通しとしては立てづらいところではありますけれども、そのような情報を参考にしていきなからですね、子ども・子育て支援事業計画、これらのデータも勘案するなど、今後はあらゆる角度から検証しながら、長期的な見通しを立てていきたいと考えております。以上です。

2 番 武 尾 ありがとうございます。現在もその聞き取りは行っているということだったんですけれども、基本的には現在はいくまでも申請を受けてから調整、協議が始まるということなので、より一歩踏み込んだサポート体制ができればですね、保護者の希望に沿った形の保育園の入園ができる。これはですね、町民の生活、保育の安定につながってですね、これからもそのような寄り添った対応をお願いしたいと思います。

それでは、ここで3点目の保育士の数とか処遇の改善についてお聞きします。御回答を聞く限りでは、課題となっているのは施設の面積などの問題でなくて、そこで保育をしてくださる働き手の数の問題だったかと思います。前提として、なぜ待機児童が発生するのか。理由としては、子供を預けて働きたい保護者が多いが、保育士が少ないという分析でよろしいでしょうか。

子育て健康課長 議員おっしゃるとおりですね、保育士不足というところが主な要因となっております。以上です。

2 番 武 尾 ありがとうございます。国の処遇の改善や町独自の施策を行っても、なおさくら保育園に保育士不足が生じるということは、大変危機感を感じます。少子高齢化に伴う様々な分野での人手不足が言われておりますが、明らかにこれは園側の問題ではなく、保育業界全体の傾向なのかと考えます。

そこで、町として園と協力して、今後どのような対応がとれるかという視点に立ちお伺いします。保育園では人が足りず、待機児童が発生している一方、

町立幼稚園も同じような状況なのかをお伺いします。幼稚園の園児数やクラス数、1クラスの基準のようなものがあれば教えていただきたいと思います。

教 育 課 長 それでは、幼稚園の関係でございますので、私のほうから御回答させていただきます。現在、幼稚園は2園、御承知のように松田幼稚園と寄幼稚園がございます。それぞれについて御説明をいたします。

まず、1クラスの基準でございますが、文部科学省が定める幼稚園の設置基準というのがございまして、そちらによりますと1学級の幼児数は35人以下を原則とするというふうになっております。したがって、35人までが1クラス、36人になると2クラスになるというような編制基準になってございます。それらを踏まえまして、現在寄幼稚園では10月1日現在の数字でございますが、在籍園児数が、下から、年少児が3名、年中児が1名、年長児が2名の計6名で、各学年1クラスずつの合計3クラスと。職員は、教諭が3名、ALTが1名の体制でございます。

続きまして、松田幼稚園でございます。同じく10月1日現在でございます。年少児が14名、年中児が25名、年長児が36名で、年少と年中が1クラス、年長児は36名でございますので、2クラスの編制になっておりまして、合計4クラスでございます。職員は各クラスに正職員の担任が1人ずつと、ほかに正職員が1名、また支援教諭と再任用の方、昨年度より寄幼稚園と同様にALTも1名を専任で配置をして、こちらも英語教育にも取り組んでおりますので、その方たちを入れると4クラスで、常時5名から約8名の体制で保育を行っているような状態でございます。

幼稚園につきましては、経験豊かな教諭の指導のもと、30代、20代の教諭がですね、日々の保育の中で経験を積みまして、熱意をもって園児の安全にも十分配慮しながら、丁寧な保育を行っております。以上でございます。

2 番 武 尾 ありがとうございます。今現在ですね、多分来年の園児募集の時期かと思うんですけども、来年の見込みはいかがでしょうか。お聞きします。

議 長 幼稚園のほうですね。

教 育 課 長 議員おっしゃるとおりですね、ただいま申込み期間ということで、まだ確定

ではございませんけれども、寄幼稚園は同じような園児、クラス数で運営が1クラス、1クラス、1クラスの3クラス、松田幼稚園につきましては、現在の申込み状況から判断いたしますと、来年度年少クラスは1クラスになると。そうすると、今の年長さんの2クラスが小学校入学して浮き上がりますので、1クラス、1クラス、1クラスで、計3クラスになる見込みで、今より1クラス減になる見込みでございます。

2 番 武 尾 ありがとうございます。幼稚園では十分な人員配置であり、子供たちも伸び伸びと教育を受けている姿が思い浮かびます。

さて、保育園と幼稚園では、その目的や背景の違い、単純に比較はできないと承知しているんですけども、そこに通う子供たちは未来を担う松田の子供たちです。できることならば、保育や教育を提供する側にも余裕を持って子供たちと接してほしいと考えております。

そこで、最後に町長にお聞きします。幼稚園と保育園の間で先生同士に交流をしてもらいながら保育をすることで、待機児童の解消を図れないか。その可能性をお伺いします。

町 長 御質問ありがとうございました。御質問のとおりですね、子供たちに差があってはいけないというのは、もう承知の上ですし、やっぱり松田幼稚園自体が選ばれてないといいましょうかね、あとは子供全体がやっぱり40人近くしか出産というか、生まれてきてないというのがちょっとあるので、非常に今のこの松田幼稚園の状況が、状況自体も、これがいいことかというのは、ほんといいとは思ってないところでもございます。ただ、一方でやっぱりそういったニーズが高くなって、保育ニーズが高くなっている件につきましては、先ほど、今の現状は保育士が少ないというのは主なことでもありますけれども、もうそんなに変わらないところぐらいに、多分保育所も少ないのではないかなというふうな感じで、本当に仕事をしたいというニーズが多いのではなかろうかというふうなことを考えております。

それで、現在さくら保育園さんには待機児童がやっぱり出たときに、同じような質問をしたときに、やっぱり先生がいらないんだというふうな話のときには、

何かしらの格好で人員を配慮した場合にはどうですかというふうな投げかけはさせてもらっています。ですので、やっぱり我々…我々といいたまわさうかね、職員さんに関しては、松田町職員なので、松田町の職員としてやはり町民のニーズに応じていくというのは、あるべき姿じゃなかろうかというふうに考えているところもありますから、さくら保育園さんともよく話をしていますね、さくら保育園さんからの要望といいたまわさうかね、そういったもの、ましてや受入れ体制ができた暁にはそういった格好で我々もお願いすることによって、職員の職のステップアップといいたまわさうかね、いろんな幼稚園というのは3、4、5しか預かってないのが、保育園に行けば同じような3、4、5かも分かりませんし、0、1、2も扱うかも分かりませんが、スキルアップも図れるというふうなこともあろうかと思いたまわさうかね、その辺はお互いのバランスをとってですね、とにかく待機児童が出るような町には定住化といいたまわさうかね、そこを目指して、分譲地があっても買わないとか、アパートも住まないだとか、そういう話も聞いているので、とにかく待機児童を出さないという強い気持ちを持って、町全体で取り組んでまいりたいとは考えています。そのような中、人事交流だとかあるのは、しかるべき姿に移ってくるのではなかろうかと思いたまわさうかね。以上です。

2 番 武 尾 この手厚い子育て支援を行うことが、将来の松田町の人口の増加にもつながると思いたまわさうかね。待機児童の通年でゼロを目指して、長期的な入所計画または保育士の確保に御尽力をいただきたいということをお願いして、私の一般質問を終了させていただきます。ありがとうございました。

議 長 以上で受付番号第6号、武尾哲治君の一般質問を終わります。